

報道機関各位

「技術者交流フォーラム事業(第43回)in小樽」を開催

インフラの既存ストック活用と観光

第43回技術者交流フォーラム事業in小樽は、地域で求められる技術開発に関する情報交換や産学官の技術者交流のため実施します。今回のフォーラムは、インフラのストックを活用し観光振興を図るため、最近の取組みなどについて紹介します。

■開催日：令和 5 年 9 月 20 日(水) 13:30~16:55

■場 所：小樽市民センター マリンホール 小樽市色内2丁目13番5号

■主 催：国土交通省北海道開発局小樽開発建設部
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
公益社団法人日本技術士会北海道本部

■後 援：国立大学法人北海道国立大学機構小樽商科大学、小樽建設協会
小樽測量設計協会、小樽市

■特別講演

小樽・後志における文化観光の可能性

～歴史文化と地域資源を活かした広域観光～

小樽商科大学グローバル戦略推進センター研究支援部門地域経済研究部客員研究員
博士(歴史民俗資料学)、地域レジリエンス株式会社 代表取締役 高野 宏康 氏

■技術者交流(展示コーナー)

講演会場に隣接するロビーに、講演者や主催団体の活動を紹介する展示コーナーを設けますので、是非ご覧ください。

■一般講演

・小樽港ふ頭再開発によるクルーズ振興

小樽開発建設部 次長 齊藤 敦志

・観光の定義と実態、そして今後の展開

日本技術士会北海道本部社会活動委員会リージョナルステート研究委員会 武山 泰典

・「道の駅」を地域振興につなげるために必要なこと

寒地土木研究所 地域景観チーム 主任研究員 岩田 圭佑

■参加申込期限 令和 5 年9月13 日(水) まで

※下記の寒地土木研究所ホームページの「寒地土木研究所 イベント情報」からお願い致します。

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>

※参加費:無料

※(公社)土木学会CPD認定プログラム

※(一社)全国土木施工管理技士会連合会CPDS認定プログラム



寒地土木研究所HP
(イベント情報)

☒ 公 開	☐ 一 部 公 開	☐ 非 公 開
取材ご希望の方は、下記まで御連絡ください。(直接会場にお越しいただいても結構です。)		

問い合わせ先				
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所				
寒地技術推進室	室 長	ふじたに 藤谷 伸夫	TEL : 011-590-4047(直通)	730(内線)
	総括主任研究員	ひなた 日向 まさのり 正典		731(内線)



国土交通省 北海道開発局
小樽開発建設部



国立研究開発法人 土木研究所
寒地土木研究所



公益社団法人 日本技術士会 北海道本部
The Institution of Professional Engineers, Japan Hokkaido RHQ

第43回 技術者交流フォーラム事業 in小樽 インフラの既存ストック活用と観光

2023/9/20 (水) 13:30~
小樽市民センター(マリンホール)

入場無料
事前申し込み

お申し込みは

寒地土木研究所HP
<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>
をご覧ください。



寒地土木研究所HP



会場位置図

〒047-0031
小樽市色内2丁目13番5号
TEL:0134-25-9900
<http://otarushiminkaikan.jp>

※公共交通機関でお越し願います。

主催 国土交通省北海道開発局小樽開発建設部
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
公益社団法人日本技術士会北海道本部

後援 国立大学法人北海道国立大学機構小樽商科大学
小樽建設協会、小樽測量設計協会、小樽市

- ▶ 開会挨拶(13:30~) 小樽開発建設部長 遠藤 平
- ▶ 特別講演
『小樽・後志における文化観光の可能性
~歴史文化と地域資源を活かした広域観光~』
小樽商科大学グローバル戦略推進センター 客員研究員
博士(歴史民俗資料学)
地域レジリエンス株式会社 代表取締役 高野 宏 康 氏
- ▶ 技術者の交流(展示・休憩)
- ▶ 一般講演
『小樽港ふ頭再開発によるクルーズ振興』
小樽開発建設部 次 長 齊 藤 敦 志
『観光の定義と実態、そして今後の展開』
公益社団法人日本技術士会 北海道本部
社会活動委員会リージョナルステート研究委員会 武 山 泰 典
『「道の駅」を地域振興につなげるために必要なこと』
寒地土木研究所 地域景観チーム 主任研究員 岩 田 圭 佑
- ▶ 閉会挨拶(16:50~) 寒地土木研究所長 竹 内 正 信

【コロナ対策】換気は常時稼働します。受付に消毒・検温設備があります。

【懇 親 会】フォーラム終了後の懇親会は開催いたしません。

お問い合わせ先：寒地土木研究所 寒地技術推進室(直通TEL 011-590-4046)

第43回技術者交流フォーラム事業in小樽は、地域で求められる技術開発に関する情報交換や産学官の技術者交流のため実施します。今回のフォーラムは、インフラのストックを活用した観光振興を図るため、最近の取組みなどについて紹介します。

《 特別講演 》

➤ 13:35~14:35



『小樽・後志における文化観光の可能性』

～歴史文化と地域資源を活かした広域観光～

小樽商科大学グローバル戦略推進センター 客員研究員

博士(歴史民俗資料学)

地域レジリエンス株式会社 代表取締役 高野 宏 康 氏

近年、地域の歴史文化をその歴史的背景や内容を含め発信し、地域振興につなげる文化観光が注目されている。今回のフォーラムでは、北前船をはじめ小樽・後志の歴史文化と食などの地域資源を組み合わせた事例を紹介します。

《 技術者交流（展示・休憩） 》

➤ 14:35~15:05



技術者交流の場として展示コーナーを設けますので、どうぞご覧ください。(講演会場の隣で開催しております)

【出展者一覧】

高野宏康氏、小樽開発建設部、寒地土木研究所(水産土木チームから後志での調査研究についても展示予定)

《 一般講演 》

➤ 15:05~16:50



➤ 15:05~15:35

『小樽港ふ頭再開発によるクルーズ振興』

小樽開発建設部 次長 斉藤 敦 志

小樽港における老朽化した既設岸壁の改良およびふ頭の再開発による、クルーズ振興・観光拠点づくりの取組を紹介します。



➤ 15:35~16:05

『観光の定義と実態、そして今後の展開』

公益社団法人日本技術士会 北海道本部

社会活動委員会リージョナルステート研究委員会 武山 泰 典

「観光」について「旅の目的」という視点から実態を分類し、インフラツーリズムの多様な展開をめざすとともに、新時代の先端技術も視野に入りたい。



➤ 16:20~16:50

『「道の駅」を地域振興につなげるために必要なこと』

寒地土木研究所地域景観チーム 主任研究員 岩田 圭 佑

寒地土木研究所が進めている研究の中から、「道の駅」を地域振興につなげるための、魅力的な空間づくりと運営上のポイントについて紹介します。

参加者の皆様へお願い

申し込み時のQRコード画像をスマートフォンに保存もしくは印刷してご持参願います。

ご来場のみなさまには下記項目にご協力をお願い申し上げます。

- ・発熱、咳の症状がある等、当日の体調がすぐれない場合は、ご来場をお控えください。場内ではマスクの着用を推奨いたします。
- ・会場入口にアルコール消毒液を用意いたします。こまめな手洗い、手指消毒にご利用ください。
- ・国や自治体の方針等により、急遽開催の中止や延期となる場合があります。
- ・事前申込をされずに来場された方は、受付にて申込み用紙に必要事項を記載のうえ参加してください。

本フォーラムは、下記プログラムに認定されています。



(公社)土木学会 継続教育(CPD)プログラム(申請中)

認定番号: JSCE23-申請中
認定単位: ●●単位



(一社)全国土木施工管理技士会 連合継続学習制度(CPDS)プログラム(申請中)

※注 CPDS
形態コード101-2分野 ●unit
(101-2分野は年間上限 6unit)